

低延焼性たばこの火災抑制効果に係る共同検証作業グループについて（案）

1. 目的

ISO 規格等に基づいて製品化されている低延焼性たばこを国内に導入した場合の効果について、我が国のたばこに起因する火災（以下、たばこ火災）に係る火災統計データ、火災原因調査資料、過去の実験データを分析するとともに、比較検証実験を行うことにより検討する。

2. 作業体制

① 作業メンバー

- ・ 消防機関（東京消防庁、大阪市消防局）
- ・ たばこ事業者
- ・ (財)日本防災協会

② 事務局

- ・ 消防庁予防課
- ・ 消防研究センター

3. 作業内容及びスケジュール

① 1回目 7月上旬

- ・ たばこ火災に係る火災統計データ及び火災原因調査資料の分析に基づく、たばこ火災の着火物、経過等に係る整理分析
- ・ たばこ（低延焼性たばこを含む）に係る過去の検証実験の分析、低延焼性たばこに係る比較検証実験計画の検討

② 2回目 7月下旬

- ・ 低延焼性たばこに係る比較検証実験計画の検討・決定

* 低延焼性たばこに係る比較検証実験の実施

③ 3回目 9月上旬

- ・ 低延焼性たばこを国内に導入した場合の効果のとりまとめ

4. 作業成果

作業結果は第4回たばこ火災被害の低減対策に関する協議会に報告する。